

第 66 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 議事録

1. 日 時:2013 年 11 月 26 日(火)13 時 30 分～15 時 40 分

2. 場 所:日本機械学会 第 1 会議室

3. 出席者:(委員 23 名中、出席者 20 名(うち代理1名)、欠席者3名)

小溝(阪大)、藤田(三菱重工)、飯田(東電)、木村(NIMS)、三好(川崎重工)、
松本(東芝)、佐藤(発電技検)、野井(ロイト)、長谷川(新日鐵住金)、
築山(パブ日立)、天野(早大)、岡(富士電機)、西川(自家発懇話会)、
屋口(電中研)、鈴木(電源開発)、鈴木(電気協会)、松田(HSB ジャパン)、
野田(経産省)、桑野(関電)

代理者:桑原[奥村(中電)]

欠席者:西村(日立)、大橋(IHI)、三原(富山大)

オブザーバ:五代儀(火原協)、茂田井(東電)、井手(東電)、齋藤(原安進)

事務局:海野(記)

4. 配付資料

66-1 . 第 65 回火力専門委員会議事録(案)

66-2 . 専門委員会・分科会委員案

66-3 . 第 66 回規格委員会議事録(案)

66-4- (1) 材料分科会報告, (2) 構造分科会報告, (3) 溶接分科会報告, (4) 配管減肉分科会報告

66-5 . 火力専門委員会書面投票結果報告

66-6 . 火力専門委員会書面投票意見対応案

66-7 . 火 STPA24J1 系鋼と火 SCPH91 鋼の許容値等の見直しについて

5. 議事

(1) 前回議事録確認

[資料 66-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

(2) 専門委員会委員、役員の承認

(2-1) 専門委員会委員の承認

[資料 66-2]

火力専門委員会の以下の委員の再任意向および新任候補が報告された。挙手による採決を行った結果、出席委員全員の賛成で、次回規格委員会に推薦することが承認された。また、以下の退任委員が報告された。

・ 火力専門委員会:(退任)堀江 嘉彦 委員

(新任候補)五代儀 剛 氏(火原協)

(再任候補)木村 一弘 委員, 松本 朗弘 委員

各分科会の以下の新任候補の推薦および以下の委員の再任意向および役員の互選による推薦が報告された。挙手による採決を行った結果、出席委員全員の賛成で承認された。

- ・ 材料分科会: (新任候補) 菊原氏 (パブ日立)
(退任) 田村委員
(再任) なし
- ・ 構造分科会: (新任候補) 大橋氏 (IHI), 豊嶋氏 (パブ日立)
(退任) 堀委員
(再任) 西田委員
(幹事候補) 西田委員 (再任)
- ・ 溶接分科会: (新任候補) なし
(退任) なし
(再任) 鈴木委員、飯田委員
- ・ 配管減肉分科会: (新任候補) 五代儀氏 (火原協)、竹石氏 (東北電力)、橋井氏 (富士電機)
(退任) 下村委員、堀江委員
(再任) なし
(主査候補) 井手委員

(3) 規格委員会、分科会他報告

(3-1) 発電用設備規格委員会報告

[資料 66-3]

第66回規格委員会の審議内容のうち、火力専門委員会に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 委員会資料取扱内規案の書面投票状況報告
- ・ 規格委員会運営規約改訂案報告
- ・ 発電用設備規格の公衆意見募集方法の変更について
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(3-2) 材料分科会報告

[資料 66-4-1]

木村委員 (材料分科会主査) が第69回材料分科会(H25.11.13)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は 2014 年 2 月 18 日 (火) に開催予定。

- ・ 火力専門委員会書面投票3件の結果が報告された。
- ・ 火 STPA24J1 系鋼と火 SCPH91 鋼のクリープ破断強度見直し結果の技術的妥当性を材料専門委員会に検討依頼することを火力専門委員会に諮ることとした。
- ・ 審議履歴表を元にレビュー票審議の状況について報告された。ASME 材非鉄材料の新規材種について分科会各委員に JSME 規格への取り入れ可否のアンケートを実施することとした。

(3-3) 構造分科会報告

[資料 66-4-2]

飯田幹事 (構造分科会主査) が第78回構造分科会(H25.11.6)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は 2014 年 2 月 5 日 (水) に開催予定。

- ・ 火力専門委員会書面投票3件の結果が報告された。

- ・ 審議履歴表を元にレビュー票審議の状況について報告された。
- ・ ASME B31.1 の引用年版について、2012 版とするかどうかは、内容を確認した上で、技術的変更の有無等による必要性や追加作業量の程度などを考慮して、再度審議することとした。

レビュー票審議の報告に対して、「APPENDIX の表記において、強制(という表現の良し悪しは別にして)の記載が無いと分かり難くなるのではないか、他の場所で代わりの説明がされているのか」との質問があった。この質問に対し、「初版では強制的記載が有ったが、検討の結果として外された経緯がある」との回答がされた。(後日、当時の経緯および検討内容について確認した結果を、飯田幹事から各委員に連絡。)

(3-4)溶接分科会報告

[資料 66-4-3]

茂田井氏(溶接分科会幹事)が、第57回溶接分科会(H25.8.26)および第58回溶接分科会(H25.11.18)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は 2014 年 2 月 3 日(月)に開催予定。

- ・ 火力専門委員会書面投票3件の結果が報告された。
- ・ 審議履歴表を元にレビュー票審議の状況について報告された。

(3-5)配管減肉分科会報告

[資料 66-4-4]

井手氏(配管減肉分科会主査)が第4回配管減肉分科会(H25.11.14)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は 2014 年 2 月 7 日(金)に開催予定。

- ・ 火力専門委員会書面投票3件の結果が報告された。
- ・ 2010 年 7 月 16 日開催の前回分科会以降の分科会活動状況が報告された。
- ・ 火力設備配管減肉管理技術規格(2009 年版)の出版から専門委員会運営規約に定める5年以内に改訂新版の案を策定する方針で改訂作業を進めることが承認された。
- ・ 富士電機より新規提案の放射線透過式配管厚さ測定装置について説明があったことが報告された。本件は 12 月 20 日までに各委員のコメントを集約することとなったことが報告された。

(3-6)火力専門委員会書面投票結果報告

[資料 66-5]

火力専門委員会にて書面投票を行った3件について結果を報告した。

◎ 書面投票番号:No. 61

投票議案名:「日本機械学会 発電用設備規格委員会 補足倫理規定案」の承認

書面投票期間:2013年9月12日～2013年10月15日

投票結果:可決

投票成立:委員総数の5分の4以上(20 票)の 23 票の投票があり、投票成立

投票採決:投票数の3分の2以上(16 票)の 22 票の賛成票があり、意見付反対票がなかったため、投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 24 名中	賛成 22 名
	反対 0 名

保留 1 名
不投票 1 名

◎ 書面投票番号:No. 62

投票議案名:「規格委員会等での資料の取扱い内規の提案」の承認

書面投票期間:2013年9月12日～2013年10月15日

投票結果:可決

投票成立:委員総数の5分の4以上(20票)の23票の投票があり,投票成立

投票採決:投票数の3分の2以上(16票)の23票の賛成票があり,意見付反対票がなかったため,投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 24 名中	賛成 23 名
	反対 0 名
	保留 0 名
	不投票 1 名

◎ 書面投票番号:No. 63

投票議案名:次期火力専門委員会委員長の選任

書面投票期間:2013年10月4日～2013年10月18日

投票結果:可決

投票成立:委員総数の5分の4以上(20票)の23票の投票があり,投票成立

投票採決:投票委員の過半数以上(12票以上)である22票の投票を得た小溝裕一候補が選任された。

<投票内訳>

委員 24 名中	
小溝 裕一 候補	: 22 票
飯田 英男 候補	: 1 票
不投票	: 1 票

本件は,次回発電用設備規格委員会にて審議され承認を受ける予定。

(4) 審議事項

(4-1)火力専門委員会書面投票意見対応

(4-1-1)発電用設備規格委員会補足倫理規定案

[資料 66-6-1]

現状の説明として、他委員会の書面投票で反対票があり成立していないこと、各委員会での書面投票意見に対する意見対応案が提案者から示されており、今後、その対応案に対して意見者が反対票を取り下げるか否かによって、規定案成立となるか再度の投票となるか等、進み方が決まることが報告された。

火力専門委員会からの書面投票意見に対する対応案についてはすべて、各意見者からの了承が得られたことが確認された。

(4-1-2)規格委員会等での資料の取扱い内規案

[資料 66-6-2]

提案窓口である原子力専門委員会幹事会の齋藤委員より、各委員会での書面投票結果とその対応方針について説明がされた。他委員会で反対票があり、またその他コメントへの対応として、コメントを反映した改訂版を作成して、再度の一次投票(再投票)を行う方針であることが報告された。再投票を行う改訂内規案については、書面投票を行った全ての委員会での説明対応の後、各委員会でのご意見も踏まえて提案される予定とのこと。したがって現状では改訂案は確定していないが、次回専門委員会を待たずに、改訂案の提示を HP 上で行い再投票を開始することについて審議され、出席委員全員の賛成により承認された。

(4-2)火 STPA24J1 系鋼と火 SCPH91 鋼の許容値等の見直しについて [資料 66-7]

電気事業連合会の高クロム鋼対策連絡会にて承認された火 STPA24J1 系鋼(Grade23), 火 SCPH91 鋼(Grade91 系鋳鋼)のクリープ破断強度見直し結果をJSME発電用火力設備規格に反映するにあたり材料専門委員会での技術的妥当性の検討を経ることが必要であると木村委員(材料分科会主査)より提案がなされ審議した結果、出席委員全員の賛成により材料専門委員会に検討依頼することが承認された。

6. 次回開催予定

日 時:2014 年 2 月 25 日(火) 13:30~17:00

場 所:日本機械学会 第1会議室

以 上